

本学公式サイトのリデザイン

A2201215 清水 頌子 A2201229 湯田奈都姫

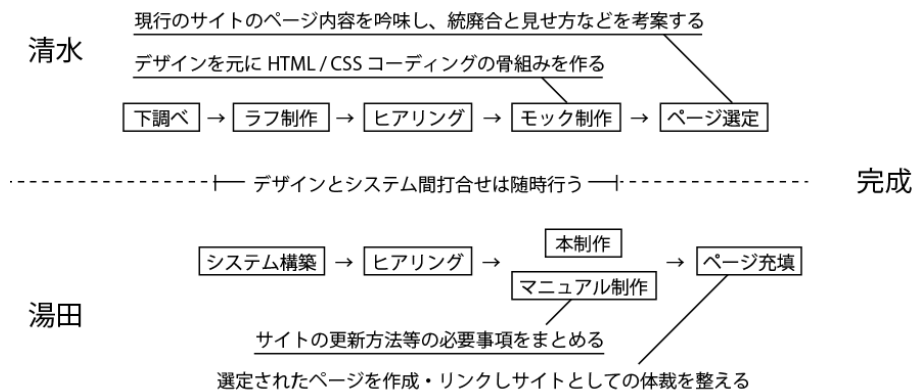
研究の背景および概要

今、HTML5 や CSS3等といった最先端の Web 技術が発達し使用されるようになりつつある。対して本学の刷新されることなく今日まで至っている。 入学者アンケートでは、本学のホームページに対し 89%の新入生が、「不足している項目や内容はない」と回答している(平成 24 年度)。しかし、情報としては十分であるが、時代に即した技術やデザインを取り入れたホームページを構築し、学外へアピールすることが望ましいと考える。

研究の目的

効率的なデザイン技術を使った本学の公式サイトを制作・提案し、より親しみやすく使いやすいものとする
ことで本学の広報活動への貢献を図る。

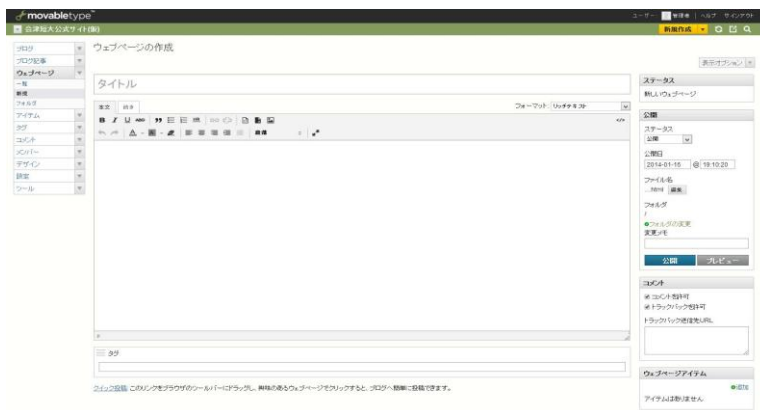
研究のプロセス



成果物(完成作品)

システム面:

複数人による更新を可能にするシステムの一種、「Movabletype」を用いたサイト編集システムを構築。



このサイト編集システムは、システム管理者とデザイナー以外は左に示した記事作成環境でブログに近い感覚で更新が可能になっている。

また、ウェブページやブログをフォルダごとに分類することが可能である。

実際のウェブサイトでのフォルダ階層は以下のとおりである。

/root) …サイトトップ

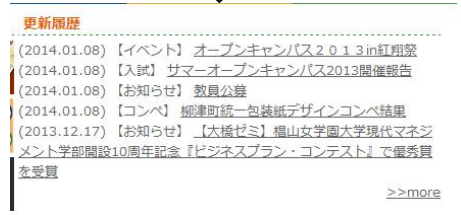
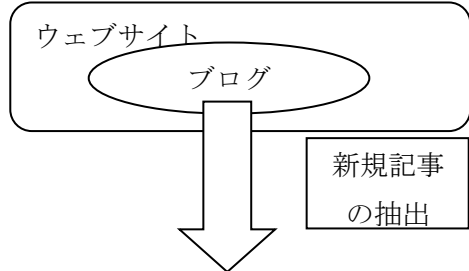
- └about …短大について
- └sangyo …産業情報学科
- └design …産業情報学科デザイン情報コース
- └keiei …産業情報学科経営情報コース
- └shokuei …食物栄養学科
- └shahuku …社会福祉学科
- └area …地域活性化センター
- | └h24 …平成 24 年度
- | | └sankan …地域関連機関関係
- | | └hukko …復興関係
- | └h25 …平成 25 年度
- | └sankan …地域関連機関関係
- | └hukko …復興関係
- └exam …進路関係
- └koza …派遣講座関係
- └ungra …学生による作品など
- └reserch …教員による研究など
- └career …キャリア支援センター
- └koen …教育後援会
- └hojin …法人関係
- └life …学校生活関係
- └image …画像収納



このフォルダ分けは、利便性を上げるためのパンくずリストの制作、ならびに各学科・コースでのデザイン変更に必要な階層分けに基づいている。このため、産業情報学科は3フォルダに分割されている。

第三に、トップページにある更新履歴の構築を行った。この更新履歴は、更新性が高いウェブサイト内に構築されたブログの更新を反映して表示される。

現サイトの更新履歴に新規に追加されるようになったカテゴリ表示に関しても、あとから追加する手間を考慮し、自動で判断・出力されるように調整を行った。トップページでの表示は最大 10 件となっているが、右下の「>>more」からはすべての更新履歴を確認できるページに移動する。



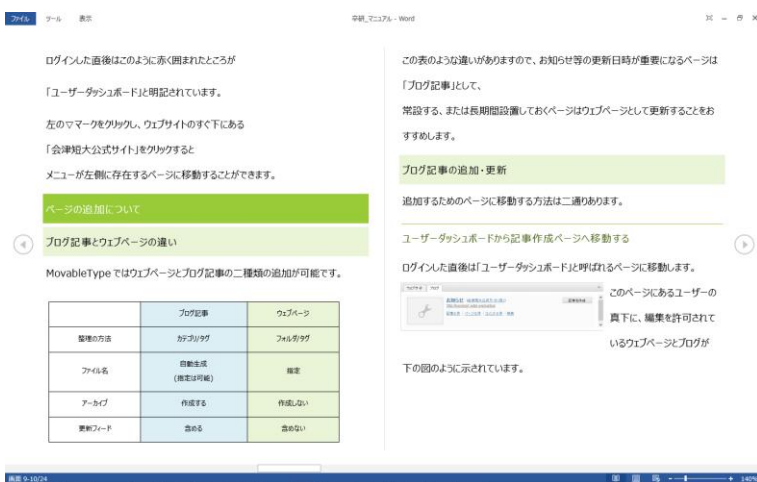


このページはカテゴリごとにタブ表示ができ、すべてのカテゴリの記事、お知らせ、入試関係、コンペ関係、イベント関係の4つのカテゴリに分類されて自動的に表示される。

ただし、件数が多くなってくるとサイドメニューの長さを超えても下に伸び、レイアウトが大きく崩れるため、このページのみ上下方向のスクロールバーを表示させた。どちらの更新履歴も、リンクは新しいページで開かれる。

第四に、HTMLなどに詳しくない更新者のためにチュートリアル要素の多いマニュアルを制作。

実際のシステムに表示される内容を画像として添付し、文章のみの説明ではなく、見て理解しやすいように調整を行った。



デザイン情報コースと食物栄養学科、それぞれの紹介ページ



デザイン面:

本学のロゴに使用されている色をアクセントとし、白で全体をまとめてシンプルで爽やかな印象にした。また、学科・コースの紹介ページ内では各学科・コースのシンボルカラーを使用し特徴づけつつも、右のナビゲーションは共通とすることで組織内であることを表現している。これは、鹿児島県立短期大学部や岐阜市立女子短期大学部が学科ごとの特設サイトを設けており、それぞれ学科の特色がよく出ているものの逆に組織の繋がりが感じられなかったことを受けたものである。



ページが長くなった時など、スクロールすると上部に戻るボタンが表示される

レイアウトは極力スクロールがなく一枚完結に近いものを目指し、右側には常時表示するグローバルナビゲーションを設置した。トップページと学科紹介ページでは、各学科・コースへのリンクも常時表示させている。本学にはどのような学科があるのか、また本学を受験する学生がいち早く学科について知ることができるように、アイキャッチ画像からの視線移動等を考慮した位置に配置した。

グローバルナビゲーションに常時表示するリンクは、他短大サイト等を参考とし、訪問者別に優先してアクセスするであろう情報と短大側としてアピールしたい情報(地域活性化センターや附属図書館など)としている。なお、メニューの順序は受験生、地域、企業・団体、卒業生となっている。これは新見公立大学短期大学部がトップページでのデフォルトで入学者向けのナビとリンクを表示していることを参考にしたことと、本学のアピールポイントである地域関連のメニューが受験生向けのコンテンツをのぞいた他 3 つの中で優先されるべきものであるということからである。

ローカルナビゲーションは設置すると煩雑になるため、今回はパンくずリストで対処している。

ページ要素についてだが、学生生活についての取材とそのページ化まで出来なかったため増やすことはできなかった。それ以外の要素は現行サイトが大変充実しているため、より迅速に目的の情報の詳細へ辿り着けるように階層等を整理した。

基本的なページのデザインと進行順は右図の通りである。これは各学科も同様となっている。

現行のサイトからの細かな修正として、PDF ファイルにはアイコンを付与している。システムの関係上手動での付与となったが、リンクを踏む前に一目で PDF であることが分かるようになった。

コードの点では、外部 CSS を設けて装飾やレイアウトを極力 CSS で行うことで煩雑さを解消した。



考察と反省

この研究と制作を通して、システムとデザインの両者が意見を交換し合い互いの理解を深めることで、より利用者にとって使いやすいサイトやシステムを目標としたアプローチをすることができた。特にシステム面においては実際の更新担当者へのヒアリングによって現実性の高いものになったと考えられる。デザイン面では各公立短大のサイトを調査することによって教育機関のサイトとして好ましいデザイン傾向を決定することができた。

課題としては、スマートフォンへの対応が挙げられる。また、学生生活についての情報の充実と見せ方も現時点で露出している課題の一つである。